

2020 年 9 月 17 日
三菱電機株式会社

NEWS RELEASE

インド向け地下鉄車両用電機品 受注累計 3,000 両分を達成 インド・デリー地下鉄向け 車両用電機品受注のお知らせ

三菱電機株式会社は、インドの鉄道車両メーカーである **BEML LIMITED**（ビーイーエムエル）から、インド・デリー地下鉄向け車両用電機品（40 編成 80 両分）を受注しましたのでお知らせいたします。また、この受注により、当社のインド向け地下鉄車両用電機品の受注累計は 3,000 両分を達成しました。

当社は、2001 年に初めてデリー地下鉄へ車両用電機品を納入して以降、製品の品質や信頼性、省エネ性などが地下鉄の安全・安定運行に貢献していると高く評価され、19 年にわたり継続してインド主要都市の地下鉄向けに車両用電機品を受注・納入しています。2015 年には当社子会社 **Mitsubishi Electric India Pvt. Ltd**（三菱電機インド）のビダディ工場（カルナータカ州・ベンガルール）を開設し、車両用電機品の現地生産を実施しています。今後も当社は、インドの国産化推進計画「メイク・イン・インディア」にも貢献していきます。



デリー地下鉄



車両用電機品のイメージ（推進制御装置）

インド地下鉄向け車両用電機品の特長

- 各種車両用電機品の一括納入により、消費電力制御を最適化し省エネ性能を向上**
 - 推進制御装置、主電動機、列車統合管理装置の一括納入により消費電力制御を最適化
 - 車両の省エネ化を実現し、インドの温室効果ガス抑制政策「スマートシティ化計画」に貢献
- 厳しい使用環境での高い機器品質を実現し、安全・安定運行に貢献**
 - 高温多湿、高濃度の塵埃（じんあい）など、インドの厳しい使用環境に対応
 - 2001 年以来、19 年にわたるインド地下鉄案件への取り組みにより、顧客からの高い信頼を獲得し、インド地下鉄の安全・安定運行に貢献
- 主要機器を現地生産することで、インド国内製造業の強化に貢献**
 - 2015 年からインド・ビダディ工場で推進制御装置などの主要機器を現地生産
 - インド政府主導の国産化推進計画「メイク・イン・インディア」に貢献

インドの地下鉄整備について

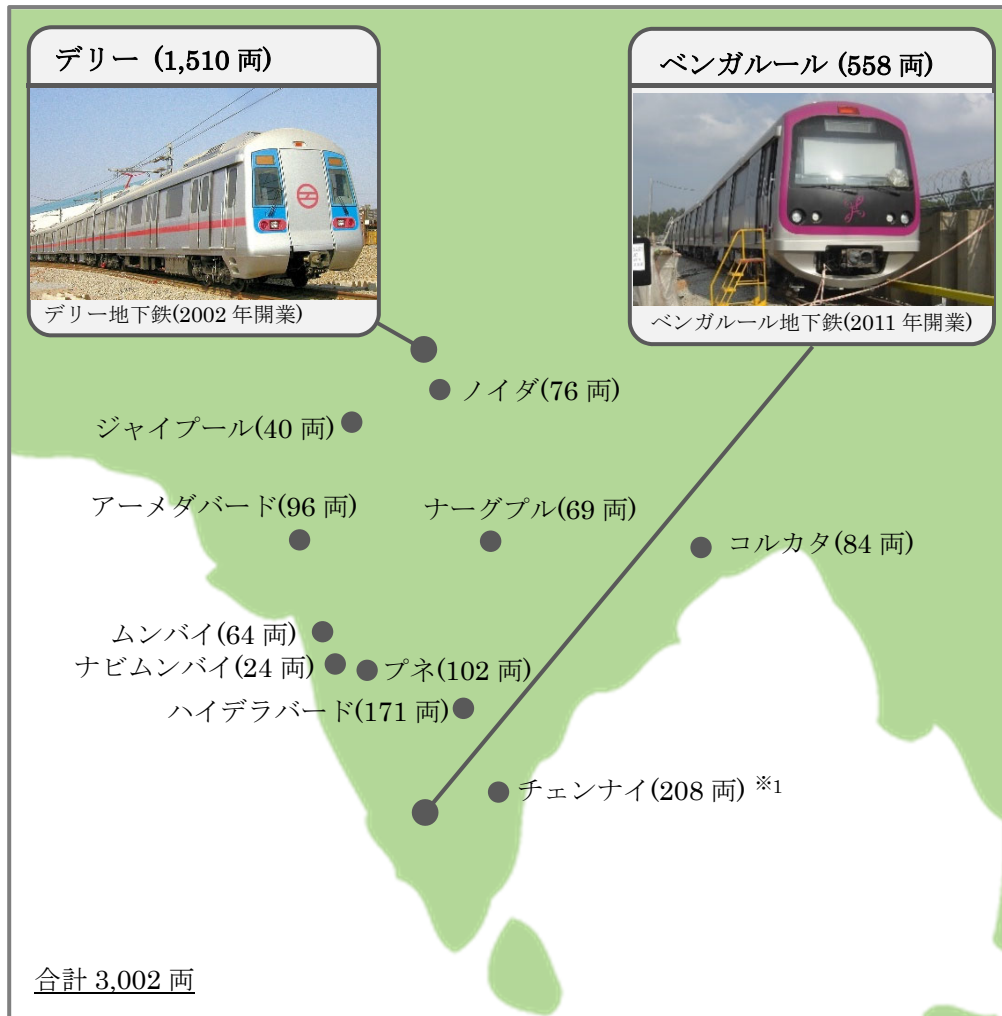
インドでは、主要都市における地下鉄の整備が急ピッチで進められており、人口 400 万人以上の都市区分に属するデリー、ベンガルール、ムンバイ、ハイデラバード、アーメダバード、コルカタ、プネに加え、人口 200 万人～400 万人の都市区分に属するナグプル、ジャイプール、ラクナウ、コチなどを含む 20 以上の都市でも交通網の整備が進められています。

今後も、需要のさらなる拡大が見込まれるインド地下鉄市場において、車両用電機品事業を強化し、インド地下鉄の安全・安定運行へ貢献します。

受注の概要

発注者	BEML LIMITED
所在地	インド共和国 カルナータカ州ベンガルール
受注内容	デリー地下鉄向け車両用電機品 40 編成 80 両分 (主変換装置、主電動機、主変圧器、補助電源装置、車両情報システム)
納期	2020 年度から 2021 年度(予定)

受注案件および受注車両数



(2020 年 9 月時点)

※1 チェンナイは車両用主変圧器のみ納入

製品担当

三菱電機株式会社 伊丹製作所
〒661-8661 兵庫県尼崎市塚口本町八丁目 1 番 1 号
TEL 06-6491-8031

お客様からのお問い合わせ先

三菱電機株式会社 社会システム海外事業部
TEL 03-3218-1266 FAX 03-3218-9048